

次世代発光材料の創製とデバイス応用 Next Generation Luminescent Materials for Optical Devices

ペロブスカイト量子ドットは、高発光量子効率・狭半値幅等の特徴や溶液プロセスでの合成が可能であり、次世代ディスプレイ材料や光触媒等への研究展開が見込まれている。本シンポジウムでは、実用展開を目指したペロブスカイト量子ドットの合成から光学特性評価、デバイス応用までを網羅し、今後の展開について議論する。



一般講演も複数件募集

招待講演

- ・磯 由樹 (慶應義塾大学)
CsPbBr₃ペロブスカイト量子ドットの表面エンジニアリング：
表面修飾剤によるナノ蛍光体の特性向上を目指して
- ・金光 義彦 (京都大学)
発光材料としてのハライドペロブスカイトの魅力
- ・木田 徹也 (熊本大学)
ペロブスカイト量子ドットにおける電子・エネルギー移動と発光スイッチング
- ・夫 勇進 (理化学研究所)
コロイド半導体量子ドットの自己集合様式の制御と光物性
- ・古部 昭広 (徳島大学)
光電変換ナノ材料およびペロブスカイト発光材料におけるキャリアダイナミクス
- ・増尾 貞弘 (関西学院大学)
単一ペロブスカイトナノ結晶の発光挙動評価 -ハロゲン交換とサイズ依存性-
- ・山田 泰裕 (千葉大学)
ペロブスカイト半導体の電子-格子相互作用：基礎物性とデバイス応用

世話人：増原陽人 (山形大学)、松井淳 (山形大学)、千葉貴之 (山形大学)
問い合わせ先：masuhara@yz.yamagata-u.ac.jp